

マコーム郡

緊急時の 準備ガイド



ワークブックとガイドライン

緊急事態管理・コミュニケーション課 • (586) 469-5270 • mcoem.macombgov.org



目次

マコーム郡長官からのメッセージ	4
はじめに	5
家族の備えに関するアンケート	7
家庭内に潜む危険を探す	8
災害に備えてできること	11
防災グッズの準備	13
自宅用防災グッズ	14
車内用防災グッズ	15
緊急連絡計画	16
緊急時の連絡先	17
緊急時の連絡先	18
避難とその場での安全確保	23
緊急事態が発生した場合	25
洪水発生時の備え	27
災害・緊急事態の復旧	28
テロリズム	31
テロリズム8つの兆候	2
テロリストの攻撃に備える	33
殺傷事件	35
911へ連絡	37



郡長官からのメッセージ



このワークブックは、自然災害や人為的災害の発生時にマコンブ郡にお住まいの方、働く方を支援するためのものです。災害に備え事前に計画を立てておくことで、何かが起きた際に安全かつ効果的な対応をすることができます。またコミュニティを構築し、救急隊員によるスムーズな任務の遂行を促すことにもつながります。このガイドラインを家族や友人、同僚とお読みください。ま

た、いつでも確認できるよう手元に置き、ご家庭や職場でご活用ください。緊急時の計画について、さらに詳しい情報をご希望の方はこちらまでご連絡ください。マコンブ郡緊急事態管理・コミュニケーション課 (586) 469・5270
ormcoem@macombgov.org

Mark A. Hackel

このガイドブックは、アメリカ赤十字社、米国疾病対策センター（CDC）、米国連邦緊急事態管理庁（FEMA）、米国国土安全保障省（DHS）の発行する出版物をもとに、さまざまな種類の災害に備えるための情報をまとめたものです。





**郡における
危機管理
の紹介**

郡における危機管理の紹介

1976年に制定された法律390条に基づき、マコーム郡は郡内の緊急事態や災害前、災害発生時、災害後の予防、準備、対応、復旧、緩和活動を取りまとめるための緊急管理プログラムを作成しました。危機管理責任者は、郡長官によって任命され、ミシガン州警察危機管理・国土安全保障部門によって確立されたプログラムの基準と要件に責任を負います。このワークブックは、地域の方々が災害や緊急事態に備えられるよう作成されたもので、マコーム郡で起きる可能性のある危険に関する情報を提供しています。この情報を事前に確認することで、ご自身やご家族、財産を守るために迅速に行動する準備ができます。

マコーム郡は、緊急事態や災害に備えて以下のような対策を講じています。

郡内のすべての緊急事態・災害に対する予防、準備、対応、復旧、軽減活動を取りまとめるために、緊急管理責任者が任命されています。緊急計画、プロトコル、ガイドラインのシステムが確立されており、災害や緊急事態の際に実施される活動の包括的な概念が記述されています。これには、郡だけでなく、地方自治体、学校、病院、企業などを対象とした計画も含まれています。民間企業や公的機関の従業員、緊急時の業務に精通したボランティアなどで構成される緊急時対応スタッフを指名し訓練を実施、緊急時オペレーションセンターはマコーム郡コミュニケーション・アンド・テクノロジー・センター (COMTEC) 内に設置され、郡内のすべての緊急対応活動とリソースの調整を行います。COMTECは、住民、企業、ファーストレスポンド（初期対応者）に24時間365日体制で状況認識に関する情報を提供する最新の施設です。この施設には、20フィート×50フィートのビデオウォール、交通モニタリングステーション、デ

ィスパッチステーション、緊急オペレーションステーションなどがあります。



MACOMB COUNTY
COMTEC
Communications & Technology
Center



家族の備えに関するアンケート

このガイドブックをご覧になる前に、基本的な緊急事態への備えについての理解度を測るために、以下のアンケートにお答えください。以下の項目は、本書の中で詳しく説明されていますので、ご確認ください。

自分の家や地域に潜む危険をご存じですか？

自分の地域社会には緊急事態に対する備えがあると思いますか？

家族は、緊急事態に対処するための十分な準備ができていると思いますか？

緊急時の計画について家族と話し合ったことがありますか？

家族のために以下のような防災用品を用意していますか？

- ・ 1人あたり3日分の水(1人あたり1日1ガロン)
- ・ 3日分の保存食
- ・ 1人あたり着替え1式
- ・ 毛布または寝袋(1人につき1枚)
- ・ 救急箱と処方薬(4日分)
- ・ 電池式のラジオと懐中電灯(予備の電池付き)
- ・ 予備の車の鍵
- ・ クレジットカードと少額の現金
- ・ サニタリー用品
- ・ ペット用品

各階に煙探知機が設置されていますか？

満タンの粉末ABC消火器はありますか？

消火器の正しい使い方を家族と共有していますか？

電気・ガス・水道の止め方をご存じですか？

家庭内に潜む危険を探す

『家族の備え』における重要なステップは、家庭に潜む危険を特定することです。アンケートの回答が終了した方は、家の中に潜んでいる危険を探してみてください。以下のチェックリストでは、危険につながる可能性のあるエリアをいくつかご紹介します。現在のあなたの状況に基づいて「はい」「いいえ」で各項目に答えてみましょう。例えば、キッチンの項目には、料理をするときに体にフィットした服を着ているかどうかという質問があります。着ている場合は「はい」、そうでない場合は「いいえ」にチェックしてください。すべての質問の回答が完了したら、ガイドブックを読み進めていきましょう。家庭内に潜む危険を減らすのに役立ててください。必要なのは、先見性、想像力、そして常識です。

キッチン

はい いいえ

- 調理中は体にフィットした服を着る
- 調理中の食品を放置しない
- 調理中は鍋の取っ手を遠くに回しておく
- 火事に備えて鍋の蓋を近くに置いておく
- 調理場を清潔に保ち、可燃物を置かない。
- コードがぶら下がらないようにする
- キッチンのシンク近くのコンセントには、漏洩遮断器が備わっているか確認する
- 鋭利な刃物は子供の手の届かないところに置く

キッチン

はい いいえ

- 家の周りの乾いた草木やゴミを処分する
- バーベキューグリルは、建物や草木から離れた場所で使用する
- バーベキュー用の木炭は金属製の容器に入れて処分する
- 建物の周りには、植物を植える
- 瓦礫を燃やしたり、ドラム缶などを使用した焼却を行う場合は、消防署に確認する

すべての部屋

はい いいえ

- 床材(ラグ、カーペット)が適切に固定され、つまずかないようにする。
- ブラインドやカーテンのコードを縛り、子供の首に絡まり窒息してしまう危険性を減らす。
- 部屋の出口を遮るものがないことを確認する

ガレージ/屋根裏部屋/小屋

はい いいえ

- ガソリンは自動車用燃料としてのみ使用し、家の中で保管しない
- ガソリンの保管が必要な場合、少量のみ、鍵のかかった容器に入れる
- 塗料やシンナーなどの可燃性の液体は、購入時の容器に入れたまま、地面、もしくは地面に近い、熱源、火花、火炎から離れた場所で保管する

たばことマッチ

はい いいえ

- マッチやライターは子供の手の届かないところに保管する
- 先の尖っていない、大きくて深い灰皿を使う
- 眠けがするときやベッドの中では吸わない
- 灰やタバコの吸殻は、1日1度は必ず金属製の缶に捨てる
- 毎晩、特にパーティーの後、家具にタバコの火が落ちていないか確認する

電気

はい いいえ

- 延長コードの使用を避ける(使用する場合は、適切なワット数のものを使用する)
- 熱を生み出す機器は1台しかコンセントにつながらない
- コードがラグの下に置かれていないか確認する
- 回路が過負荷になっていないか確認する
- 破損したコード、プラグ、ソケットは交換する
- ランプや照明器具には適したワット数の電球を使用する
- ヒューズ/安全ブレーカの定格電流が正しいかどうか確認する
- ヒューズを抜いたり安全ブレーカを切ったりしない

衣類/洗濯機・乾燥機

はい いいえ

- 機器が正しく接地されていることを確認する
- 糸くずフィルターが清潔で利用可能であることを確認する
- ダクトホース(排気ホース)が汚れていないこと、空気の流れが妨げられていないことを確認する

消火器

はい いいえ

- 身近な場所に万能型の粉末ABC消火器(普通、油、電気火災対応)が設置されていることを確認する
- 家族全員が消火器の使用方法を知っていることを確認する
- キッチン、ゴミ箱、地下室、寝室にも消火器が設置されているか



- ○ 油を拭いた使用済みの雑巾は、密封された金属容器に保管する
- ○ 新聞や雑誌などの可燃物を保管しない

暖房器具 はい いいえ

- ○ 暖炉やガス/薪ストーブが地域の法令に準拠していることを確認する
- ○ 煙突の清掃と点検を毎年行う
- ○ 灰は金属製の容器に捨てる
- ○ 衣類、家具、電気コードは壁掛け式ヒーターから12インチ、ポータブルヒーターから36インチ以上離れた場所に置く
- ○ 暖房用ボイラーを毎年点検する
- ○ 給湯器は120度Fに設定する
- ○ 新しいガス給湯器は、床から18インチ以上の高さに設置する

お風呂場 はい いいえ

- ○ 有毒な掃除用具や薬は、子供の手の届かない場所に収納する
- ○ ガラスの容器はプラスチック製のものに替える
- ○ すべてのコンセントが漏洩遮断機を備えていることを確認する

家族の備え はい いいえ

- ○ 2階を含むすべての部屋から途中に障害物のない出口までの経路を2通り計画し、全員にそれを周知する
- ○ 屋外の集合場所を決めておく
- ○ 災害時や緊急時に家族の安否を確認し合うための

州外の連絡先を決めておく

- ○ 避難計画を立て、定期的に避難の練習する
- ○ 重要な書類や貴重品は、耐火性の金庫や戸棚に保管する
- ○ 家や家財に適切な保険をかけておく(地震、洪水、家財、火災)

その他の危険

はい いいえ

- ○ 各階に適切に設置する
- ○ 毎月第一火曜日にテストを行う
- ○ 半年ごとに電池を交換する

その他の危険

はい いいえ

- ○ 重くて大きな直立した家具は、壁の柱の部分にボルトで固定する
- ○ キッチンや浴室の戸棚は、自動ロック式の留め金で固定する
- ○ 重いものや壊れやすいものは、下の方の棚に収納する
- ○ 基礎にひび割れがないか確認し、必要に応じて補修する
- ○ 鏡や額縁は壁に固定するか、太いワイヤーをアイスクリューに通して吊るすか、溝型のフックを使用する
- ○ 除雪用の器具(シャベルや除雪機)は適切に使用する
- ○ 冬の気候に合わせた車の装備(ブレーキ、電気系統、エンジン、オイル交換、ライト、タイヤ)をする
- ○ 雪や氷の上を歩くときは、滑らないように適切な靴を履く
- ○ 滑りやすい場所の氷や雪を除去するために、歩道に塩を撒く
- ○ 家の中に緊急避難場所を確保する

災害や緊急事態に備えて、家族で計画を立て、行動を覚えておくためには、訓練を行うのが効果的です。

火災時の避難訓練

家族全員が低い姿勢で家の外に出て、外に出たところで決まった集合場所に集まりましょう。また、着衣着火の対処法(止まって、倒れて、転がる)の練習ができる芝生などの柔らかい場所を確保しておきましょう。また煙警報器と一酸化炭素警報器の電池が新しいこと、消火器が満タンであること、複数の避難経路が確保されていることも確認しておきましょう。

応急処置

家族が負傷者の手当てをできるようにしましょう。10代や中学生の年頃のお子さんであれば、ご両親の応急処置を任せてもいいでしょう。自分がひどい切り傷を負い、気が遠くなっていることを伝えましょう。お子さんに救急箱の場所を事前に伝え、それを使う練習をさせましょう。幼いお子さんや繊細なお子さんには、腕にマーカーで赤い線を引き深い切り傷を再現することで、より実践的な訓練になります。その状態で包帯を巻く練習をさせましょう。





防災計 画の用意

災害に備えてできること

予測される危険を理解することは、緊急時の計画を立てる上で重要なステップです。ミシガン州南東部で起こりうる危険を次の通り一覧にしました。この地域に暮らす方、働く方は、身の回りでどんな危険が発生する可能性があるかを知っておかなければなりません。家族で潜在的な危険性について話し合い、緊急時の計画を立てることが重要です。

冬の嵐	強風・竜巻	雷雨・雹
危険物による事故	洪水	構造物の火災
インフラの故障	干ばつ	公衆衛生上の緊急事態
異常気象(猛暑／酷寒)	暴動	山火事
停電	テロ・破壊行為	殺傷事件

国の準備目標

予防

差し迫った、予告された、実際に発生したテロ行為を防止、回避、阻止する。

緩和

最大の脅威と危険から市民、住民、来訪者、資産を保護し、私たち皆の利益、願望、生活様式の繁栄を目指す。

緩和

今後起こり得る災害の影響を軽減することにより、人命の犠牲や財産の損失を抑える。

対応

人命救助、財産や環境の保護、そして大災害後の必需品を確保するために迅速に対応する。

回復

インフラ、住宅、持続可能な経済、さらには大災害によって影響を受けた地域社会の健康、社会的、文化的、歴史的、環境的基盤を適時に修復、強化、再生することに重点を置く。



防災グッズの準備

水、食料、応急処置用品、衣類、寝具、工具などの必需品を準備し、避難時や、長期間にわたって電気、熱、水が使えない場合に備えておきましょう。防災グッズは5ガロンのバケツ、ダッフルバッグ、またはバックパックの中に収まります。

防災グッズとして、以下の物品を用意しましょう。

水

3日分—1日1人あたり1ガロン

- 水は密封された割れない容器に入れて保管する(半年ごとに交換)

食料

3~5日分の保存食(世帯全員分)

- 食品(高エネルギーですぐに食べられるもの)
- 牛乳・ジュース(缶詰や粉末のもの)
- 燻製または乾燥肉(ジャーキー)
- マルチビタミン、食物繊維、塩
- 金属の食器(調理・食事用)
- 紙コップ、皿、プラスチック製食器
- 缶切り(手動)
- 調理器具、カトラリー
- アルミホイル
- 石鹸、液体洗剤、洗剤液、たわし/スポンジ、スプレーボトル
- フリーザーバッグ(サイズ違い)

衛生用品

- 個人用衛生用品
- プラスチック製のゴミ袋と紐
- 蓋付きのプラスチックバケツ
- スプレータイプの消毒液
- ウェットティッシュ、おしりふき
- トイレtp>ペーパー

衣類・寝具

衣類と履物 1人につき1セット

- 丈夫な靴またはワークブーツ
- 雨具
- 毛布または寝袋

- 暖かい帽子、手袋、衣類、防寒下着
- 帽子、日焼け止め、サングラス

救急キット

(防水性の容器に入れる)

- 絆創膏
- 医療用ガーゼ(2,3インチ)
- 三角巾
- 低刺激性の絆創膏
- 医療用包帯ガーゼ(2,3インチ)
- ハサミとピンセット
- 針と安全カミソリの刃
- 石鹸と殺菌スプレー
- ウェットティッシュ
- 薬用スポイト
- 体温計(ガラス製ではないもの)
- ゴム手袋
- 防塵マスク
- ワセリン
- 安全ピンセット(複数サイズ)
- 舌圧子(※診察時に舌をおさえる器具)
- 浄水器の錠剤

工具と消耗品

懐中電灯(予備の電池、予備の蛍光灯)

- 電池式ラジオ(予備電池付き)
- マッチ(防水容器に入れる)
- ライター、信号弾、消火器
- 折りたたみ式スコップ
- アーミーナイフ
- ユーティリティナイフ
- 紙、鉛筆、ハサミ、のり
- 地図(市、郡、州)

- お金(現金、クレジットカード)
- ダクトテープ

特別な用途の物品

赤ちゃん用:

- 粉ミルク、ジュース
- おむつ、おしりふき
- 哺乳瓶、薬

大人用:

- 薬(インスリンを含む)
- 入れ歯
- コンタクトレンズ、消耗品、予備のメガネ
- 娯楽(ゲーム、本)
- 携帯電話

ペット用:

- 食べ物、水
- 首輪、リード、ハーネス
- キャリア、ケージ
- 書類

書類

防水性のある容器に入れる)

- 防災マニュアル
- 重要な電話番号
- 遺言書、保険証書
- 契約書、証書、株式、債券
- パスポート、社会保障カード
- 予防接種記録
- 家族の記録(出生、結婚、死亡)
- 貴重な家財道具の目録
- 財務記録(銀行口座、クレジットカード口座)
- 許可証(狩猟、釣り、公共の場での火起こしやそれを使った調理)

自宅用防災グッズ

火災や洪水などの緊急事態発生に伴い、自宅からの緊急避難が求められる場合があります。以下の物品を用意し、小型の容器に入れて、家を出るときにすぐに手に取れるようにしておきましょう。

自宅にて、以下の物品を防災グッズとして用意しましょう。

- ・ 水筒2本
- ・ 高エネルギー食品(グラノーラバー、ナッツ缶、ハードキャンディ、トレイルミックス、ピーナッツバター、クラッカーなど)
- ・ 小型の電池式ラジオ(AMラジオが望ましい)と予備の電池
- ・ 小型の救急箱
- ・ 予備の電池を入れた懐中電灯
- ・ 少額の現金と小銭、クレジットカード(防水加工された小型の容器に入れる)
- ・ 車や家の鍵の予備セット
- ・ 家族の重要書類(耐火性の容器に入れたもの)
- ・ 社会保障カード
- ・ 保険証書
- ・ 遺言書
- ・ 不動産謄本
- ・ 口座番号
- ・ 出生証明書および結婚証明書
- ・ 家財道具や貴重品・資産の目録(家財道具のビデオや写真があると便利)
- ・ 予備のメガネ
- ・ 避難計画(連絡先、集合場所など)
- ・ ペット用品



車内用防災グッズ

車には防災用品を備えておきましょう。ガソリンの残量を把握し、緊急事態の警告が放送された際には満タンにしておきましょう。ガソリンスタンドは、緊急事態の影響を受けて利用できなくなる可能性があります。該当する物品はいつでも持ち運べる容器に保管しておきましょう。

車内用防災グッズとして、以下の物品を用意しましょう。

- ・ 水筒2本
- ・ 高エネルギー食品(グラノーラバー、ナッツ缶、飴、トレイルミックス、ピーナッツバター、クラッカーなど)
- ・ 予備の電池を入れた懐中電灯
- ・ 救急箱
- ・ ブースターケーブル
- ・ タイヤ修理キットとポンプ
- ・ 三角表示板と反射ベスト
- ・ 消火器
- ・ レインコート
- ・ 車用バッテリー充電器(持ち運び型)
- ・ 周辺地図
- ・ アーミーナイフ
- ・ 発煙筒
- ・ 毛布
- ・ 寒冷地では、以下のものが必要です:
 - ・ 毛布
 - ・ スノーブラシ
 - ・ シャベル
 - ・ 防寒着
 - ・ スタック脱出用の砂



緊急時連絡計画を立てる

いざという時に家族が安心して過ごせるよう、準備が必要です。家族の居場所を把握することで、安心して過ごすことができます。そして通信手段を確保しておけば、家族全員と連絡を取り合うことができます。以下の簡単な手順を踏むことで、安心することができます。

- ・災害発生時に家族が連絡を取れるよう、自分たちの街とは別のところに住む、緊急連絡先となる人を決めておく。
- ・家族全員が電話番号を把握しているか確認する。連絡先カードを作っておけば、すぐに確認することができます。
- ・別の街の緊急連絡先は定期的に確認する。
- ・子供が通う学校の職員に緊急連絡先を伝えておく

他人を助けることを忘れない

近くに高齢者や障害者が住んでいるかもしれません。そのような人たちに連絡を取ることをチェックリストに入れておくと、災害時に助けを忘れずに呼ぶことができます。

- ・援助を必要とするであろう人のリストを作る
- ・相手が安心して教えてくれる場合に限り電話番号や住所を聞く
- ・緊急事態発生時には近所の人と連絡を取り合いサポートできることがないか確認する
- ・郊外の連絡先を教える



災害発生時には、必ず911に連絡して緊急サービスを受けてください。911は、問い合わせや情報収集、非緊急時の支援要請には使用しないでください。災害発生時には、救急隊には助けを求める電話が殺到します。あなたの電話が緊急性の高いものであることを確認してください。そうすることで、本当に助けを必要としている人たちが優先されます。緊急性のない質問や懸念がある場合は、地元の政府機関の電話番号やホットラインをご利用ください。

子供たちに緊急時の電話のかけ方を教え、緊急時のみ911に電話することの重要性を伝える。



緊急電話番号

警察	DIAL 911
消防	DIAL 911
救急車.....	DIAL 911
郡保安官	586-469-5151
郡緊急事態管理局.....	586-469-5270
郡保健局	586-469-5235
郡公共事業.....	586-469-5325
郡道路局	586-463-8671
ミシガン州警察(リッチモンド)	586-727-0200
FBI(デトロイト).....	313-965-2323
石油・化学物質流出事故国家対策センター	800-424-8802
米国沿岸警備隊の緊急サービス.....	800-321-4400
税関・国境警備局(CBP)	800-232-5378
移民・税関捜査局(ICE)	313-568-6042
ミシガン州毒物管理センター	800-222-1222
ミシガン州南東部米国赤十字(災害救助)	313-833-8816
救世軍(災害対策)	888-803-8858
DTEエネルギー.....	800-477-4747
消費者エネルギー	800-477-5050

緊急時の連絡先

地元の連絡先

氏名 _____
市町村名 _____
電話番号 _____

地域外の連絡先

氏名 _____
市町村名 _____
電話番号 _____

近くの親戚

氏名 _____
市町村 _____
電話番号 _____

家族勤務先の電話番号

父 _____
母 _____
その他 _____

緊急電話番号

警察署 _____
消防署 _____
病院 _____

かかりつけ医

氏名 _____	電話番号 _____
氏名 _____	電話番号 _____
氏名 _____	電話番号 _____

再会場所

自宅の近く _____
自宅から離れた場所 (帰れなくなった時のため) _____
住所 _____
電話番号 _____
最初に試すルート _____

公共設備

電気 _____
ガス _____
水道 _____



ベビーシッターのための手引き

アメリカでは広くベビーシッターが利用されています。家族や地域の人がベビーシッターになる場合もありますが、その人たちが緊急時の計画や連絡先を知らないことがあります。大切な家族や家庭を他人に預ける以上、緊急事態が発生した場合の対処法を関係者全員が知っておくのは当然のことです。

家の住所 _____

家の電話番号 _____

緊急連絡先

警察・消防・救急

911に電話

聴覚障がい者

586-469-5093

保護者の連絡先:

住所 _____

電話番号 _____

携帯電話: _____

帰宅時間: 午前/午後 _____ 時

緊急時の計画: _____

防災キットの場所: _____

確認事項

- ・ 訪問者の身元や目的を確認し、安全が確認されるまでは、ドアを開けてはいけない
- ・ すべてのドアと窓の鍵を閉める
- ・ 屋外でも屋内でも、子供が遊んでいる場所を常に把握する
- ・ 悪天候の予報に注意し、適切に対応する

重要な注意事項: _____





**屋外
警告
システム**

屋外警報システム

次のような場合に警報が作動することがあります：

- ・ 米国国立気象局がマコーム郡に一定期間の竜巻警報を発令した場合、または気象観測者がマコーム郡に竜巻が接近しているか、またはマコーム郡内で竜巻を検出した場合
- ・ 風速70m以上の強風、または竜巻のような被害をもたらす可能性のある激しい雷雨
- ・ 地域社会に影響を与え、避難やその場での避難が必要となる可能性のある危険物の流出

屋外警報は、緊急の災害が地域に侵入した場合に警告するためのものです。警報が鳴った時、自らが被害の可能性を予想できると過信するのは危険です。すぐに避難し、ラジオやニュースなどで災害に関する情報を確認し、身の安全を確保してください。

気象警報システム

携帯電話に搭載されている天気予報ラジオやアプリを使えば、一刻を争う状況でも、命を救う情報がすぐに確認できます。自宅でも、オフィスでも、旅行先でも、緊急気象警報システムは、あらゆる気象上の緊急事態に備えるための有用なツールです。

自宅で

天気予報が聞けるラジオを家に置いておけば、緊急事態の接近を知ることができます。また、気象ニュースを見ることで、過去・現在・未来の気象状況を視覚的に把握することができます。

職場で

天気予報に対応したラジオがない場合は、携帯電話に天気予報アプリを入れておくと、職場で緊急事態に直面した際に有用です。帰宅時の車での移動にも備えることができます。





**避難とその
場での安
全確保**

避難

当局から自宅や職場からの避難を求められた時に、安全な場所に逃げるための時間は十分でないかもしれません。通知を受けたらすぐに出発できるように準備しておきましょう。避難期間は緊急事態によって数時間から数日に及ぶこともありますので、自分と家族のために、最低でも3日分の準備をしておく必要があります。

避難指示を受けた場合には、以下の方法で避難してください。

- ・ ラジオやテレビをつけて、当局の指示に従う
- ・ 防災グッズを持っていく
- ・ 家の鍵をかけて避難する
- ・ ドアにメモを貼っておく。地元の警察官が近所をパトロールしています。
- ・ 当局が定めた移動ルートを利用する
- ・ 避難前に身を寄せる友人や親戚の家を選定する

時間に余裕があれば、次の作業をしておくといでしょう。

出かける前に電気・水道・ガスを停止する(安全な遮断方法を知っている場合のみ) 戻ったら事業者に連絡し、サービスを再開してもらう

シェルター・イン・プレイス

緊急時には、避難するよりもその場に留まった方が安全な場合もあります。もし当局から「屋内退避」を要請された場合は、以下のポイントを参考にしてください。:

- ・ すべての窓やドアを閉め、鍵をかける
- ・ 扇風機、暖房器具、エアコンの電源を切る
- ・ 暖炉のダンパーを閉める
- ・ 適切な手順を知っている場合には、すべての電源を切る
- ・ 激しい嵐の場合は、地下室や窓のない部屋に避難する
- ・ 化学物質の脅威がある場合(化学物質の多くは空気より重く、地下に流入する可能性があるため) 地上に避難することが望ましい
- ・ 電池式のラジオで詳しい説明を聞く
- ・ 緊急事態が発生した場合に備えて、必ず避難計画を立てる





いざと
いう時
の

緊急事態が発生した場合

緊急時には、落ち着いて行動することが大切です。事後であっても、まだ危険が残っている可能性があります。安全だと思われる場所でも、そうでない場合があります。地元のテレビ、ラジオ、放送局の緊急情報を常に把握し、専門家のアドバイスに従いましょう。避難指示が出ていない限り、緊急車両が通行できるように道路の利用を避けましょう。

緊急時には、食料、水、電気が長時間にわたって遮断される可能性があります。停電になると、食料品店が閉店したり、水道が使えなくなったりします。推奨事項

水

災害時にきれいな水が手に入らない場合は、氷やお湯のタンクやパイプの中の水を使う。外出が可能であれば、川、雨水、池や湖、自然の湧き水、雪などの水を沸騰(5分間)、蒸留、または消毒して浄化する。漂白剤で水を浄化するには、1ガロンの水に対して10滴の漂白剤を使用します。含有される次亜塩素酸ナトリウムが5.25%を超えない、一般家庭用の液体漂白剤を使用してください。

食品

ビタミン、ミネラル、プロテインなどのサプリメントを摂取する。緊急時には、少なくとも1日1回、バランスのとれた食事をして体力を維持することが重要になります。

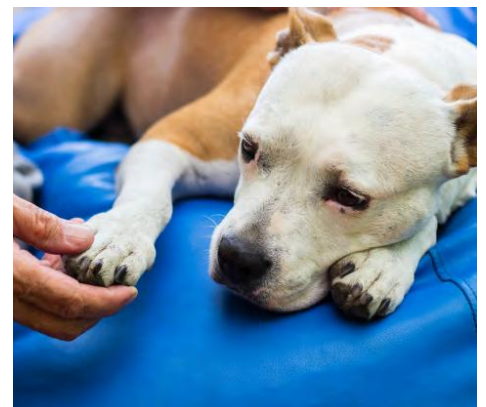
停電になった場合

- ・ 冷静になり、気温による体調不良を訴える家族や隣人がいれば助ける。
- ・ 電気が復旧するまでの間、電池式の懐中電灯を用意する。ろうそくは使わない(火災の原因になります)。
- ・ コンピュータ、DVDプレーヤー、テレビなどの電気機器の電源を切る。
- ・ 停電時に使用していた主要な電気製品の電源を切る。停電復旧時の過電流発生を防ぐことができます。
- ・ 冷蔵庫や冷凍庫の扉はできるだけ閉めて、内部の冷気をできるだけ維持する。
- ・ ストープの使用をやめる。火事やガス漏れの原因になります。
- ・ 車の運転には細心の注意を払う。信号機が機能していない場合は、それぞれの信号機を「一時停止標識」とみなし、交差点では完全に停止し、よく見てから進みましょう。911でOK

ペットを飼っている場合

ペット用防災グッズを作りましょう。以下を参考にしてください。

- ・ 識別用の首輪と狂犬病タグ
- ・ キャリアまたはケージ
- ・ リード
- ・ 各種薬(使用期限を確認のこと)
- ・ 排泄物を処理するための新聞紙とビニール袋
- ・ 少なくとも2週間分の食料、水、フードボウル
- ・ 獣医による診断書(多くのアニマルシェルターでは、ワクチン接種の証明書がないペットは受け入れられません)

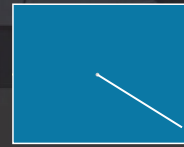


準備しましょう!
DURING

BE READY! FLOODS

洪水発生に

洪水発生の可能性を把握する



- 周辺の、洪水や地滑りが発生しやすい場所を確認する。

- 地域の警報、避難経路、緊急避難所の場所を把握する。

- 地域における洪水発生時の避難経路を把握する。

電線が切れたときや、家の中に水が入ってきたときは避難する前に、ガス、電気、水道を止めてください。

壁装材、布、敷物、乾式壁など、消毒できないものは捨てる。

電気が復旧したときに感電しないよう、電化製品のプラグを抜いてください。

浸水した道路を歩いたり、車で走ったりしないでください。車や人が流される可能性があります。

防災用品を集め、ラジオやテレビで最新情報を確認しましょう。

天気予報

屋外にあるものは固定するか屋内に入れる。

AFTER
避難後

衛生面の安全を確保する



石鹸と水で手を洗い、細菌の侵入を防ぐ。



飲料水、調理用の水、掃除用の水を安全に使用する方法を地元役所で確認する。

扇風機、エアコン、除湿機などを使って乾燥させる。

掃除の際は、ゴム長靴とビニール手袋を着用する。

壁や床などの表面を石鹸と水で洗う。漂白剤1カップと水1ガロンを混ぜたもので消毒する。

注意! 洪水による水にはゴミが含まれている可能性があります。



詳細はこちらをご覧ください。
<http://emergency.cdc.gov/disasters/floods/>

災害・緊急事態からの復旧

緊急時の情報や指示は、地元のラジオやテレビで確認してください。

災害や緊急事態において、最も時間がかかるのが復旧段階です。災害や緊急事態の前後に適切な手順を踏むことで、迅速かつ効率的な復旧が可能になります。そのためには、すべての住民が適切な損害保険に加入することが必要です。

以下のガイドラインは、復旧プロセスを支援するためのものです。

一般的なガイドライン

- ・ 保険会社にできるだけ早く連絡し、保険金償還手続きを開始する。
- ・ 災害や緊急事態の後に支出したものは、領収書を添えて記録しておく。将来の保険金や所得税の控除を求める際に重要な意味を持ちます。
- ・ 電気・水道・ガスに起因する危険に注意し、自分で接続や解除を行わない。
- ・ 食料、衣類、仮設住宅が必要な方は、こちらまでご連絡ください。
American Red Cross (313) 833-8816またはSalvation Army (888) 803-885"

竜巻

- ・ 建物の中に入るときは、壁や天井、屋根が基礎に支えられているかどうか確認する。
- ・ 天然ガス管の破損に注意する。天然ガスの臭いやヒューヒューという音は、天然ガス管が破損している可能性があります。これが疑われる場合は、窓を開けて換気を行い、すぐに退避してください。安全が確認されるまでは、喫煙を避け、石油、ガスランタン、ろうそくなどを照明に使わないでください。
- ・ 断線や擦り切れたワイヤーからの火花に注意する。ワイヤーにはまだ電気が流れている可能性があります。

火災

- ・ 熱、煙、すすを浴びた食品、飲料、薬はすべて処分する。
- ・ 耐火性の金庫は、冷めるまで開けない。

冬の天候

- ・ どうしても外出しなければならない場合は、適切な靴で雪や氷の上を慎重に歩く。
- ・ 雪かきをする際は、無理をすると心筋梗塞になる可能性があるため注意する。安全のためには、休憩を取り、雪を持ち上げるのではなく、押すようにしましょう。
- ・ 凍傷の初期症状には、感覚の喪失や四肢(手指、足指、鼻など)が青白く見えることがあるので注意する。
- ・ 低体温症の症状として、制御できないほどの震え、記憶喪失、支離滅裂、無気力、疲労感などを把握しておく。
- ・ 車の運転は必要な時だけにして、一人での移動は避け、幹線道路を走るようにする。
- ・ 嵐で家が停電したり、暖房が効かなくなったりした場合は、公共の避難所に避難する。避難所は、こちらからご確認ください。

American Red Cross (313) 833-8816またはSalvation Army (888)803-8858





洪水

- 洪水の水が建物を囲んでいる場合は、建物の中に入らない。
- 洪水の水に晒された食べ物や水は捨てる。
- 浸水した地下室は、1日に約3分の1の水をゆっくりと汲み上げ、さらなる被害から基礎部分を守る。
- 破損した浄化槽、汚水槽、ピット、排水処理システムを直ちに修理する。
- 破損した下水設備は健康被害をもたらし、洪水の影響を強める可能性があるので注意する。

危険物事故

- 避難した場合は、地方自治体が安全を宣言するまで帰宅しない。
- 帰宅したら、すべての窓やドアを開けて自然換気を行う。
- 爆発の危険性があるので、機械的な換気（電動ファン）をしない。
- 自分の土地や所有物を掃除する方法を地方自治体に連絡して確認する。
- 有害物質による汚染の影響を受けた食品や水を廃棄する。

安全対策、事後の帰宅、緊急時の準備方法などについてご質問がある場合は、こちらまでお電話にてお問い合わせください。Macomb County Emergency Management & Communications (電話番号: 586・469・5270) 食品や飲料水の安全性についてご質問がある場合は、こちらまでお電話にてお問い合わせください。Macomb County Health Department (586) 469・5236





テロリズム8つの兆候

#1 監視

活動を記録または監視する人。これには、カメラ（静止画または動画）の使用、メモを取る、図を描く、地図に注釈を付ける、双眼鏡やその他の視覚向上装置を使用することなどが含まれます。

#2 諜報活動

法執行機関や軍の活動、能力、人に関する情報を得ようとする人や組織。情報収集は、郵便、ファックス、電話、または直接行われることがあります。

#3 セキュリティのテスト

耐性を評価するために、セキュリティに対する侵害行為により反応時間を測定する、または、物理的な防御網や安全確保のための手順を突破しようとする行為

爆発物、武器、弾薬などの購入または盗用。軍服、デカール、飛行規定、パスやバッジ（またはそれらを製造するための設備）、その他の管理された物品の取得を含む。

#5 所在が曖昧な怪しい人

職場や近所、事業所など、所在がはっきりしない人。不審な国境越えや船上での密航者、港での船からの飛び降りなども含む。



#6 テロリズムのテスト

実際にテロ行為を行うのではなく、計画に沿って事前にテストをする。これは特に誘拐を計画する場合に当てはまりますが、爆弾テロにも関係します。これにはルートのマッピングや、信号や流れのタイミングを決めることも含まれます。

#7 爆発物等の設置

テロリストはテロ行為の準備をします。テロ攻撃が発生する前に警察に通報できる最後のチャンスです。

#8 資金調達

多額の現金の支払いや預金、引き出しを伴う疑わしい取引は、テロリストの資金源が疑われる一般的な兆候です。また、寄付金の徴収、金銭を求めるといった行為、犯罪行為なども警戒すべきサインです。



PREPARING FOR A TERRORIST ATTACK

2001年9月11日の同時多発テロ以降、米国に対するテロリストの脅威はますます大きくなっています。過激派グループや個人が、化学兵器、生物兵器、爆発物、放射性物質、核兵器などの入手に向けて動いています。マコーム郡をはじめ、ミシガン州や米国内の公安関係者は、国家の安全保障の強化に努めています。

テロも緊急事態同様に地域から始まります。すべての市民が潜在的な脅威を認識し、理解し、備えることが重要です。事件がどのように展開するかを予測することは不可能ですが、私たち自身や大切な人たちを守るためにできる簡単なことがあります。

化学・生物学的攻撃

一般市民が化学物質や生物学的物質に偶然または意図的に接触する可能性があります。化学剤や生物剤の多くは無色無臭であるため、多くの場合、その影響はすぐにはわかりません。

兆候

- ・ 表面に付着した油膜の液滴
- ・ 周辺の動物の死骸や瀕死の状態
- ・ 原因不明の臭気
- ・ 吐き気、呼吸困難、痙攣、見当識障害などの症状
- ・ 天候とは関係のない低層の雲や霧、ほこりの雲、浮遊する(ともすると色がある)粒子

対策

- ・ 発生源から風上に移動する
- ・ 避難ができない場合は、屋内に移動し、「シェルター・イン・プレイス」(18ページ参照)を開始する。
- ・ ガスマスクを着用するか、ガスマスクがない場合は、水1カップと重曹大さじ1を混ぜた溶液に浸した清潔な布で口と鼻を覆う。
- ・ また、素肌を覆い、切り傷や擦り傷がないか確認する。
- ・ 衣服を脱いでビニール袋に入れ、すぐに大量の温かい石鹼水または10:1に希釈した漂白剤で洗浄する。
- ・ 化学物質や生物学的物質に接触した後は、できるだけ早く医師の診察を受ける。

化学物質や生物学的事象が発生した場合には、地元のラジオやテレビで状況や準備、対応のガイドラインなどの最新情報を確認してください。

テロリストの攻撃に備える

爆発物による攻撃

爆発物は最も一般的なテロリストの攻撃形態です。

製造のための情報が手に入りやすいことや、起爆を行いやすいことがその理由です。周囲に気を配ることは、このような事件が起きたときに警戒するための練習になります。

取るべき行動

- ・爆発物があると思われる場合は、すぐにその場を離れる。
- ・身の安全を確認した上で、911に電話してオペレーターに状況を伝える。
- ・地域、州、国の緊急通知システム(テレビ、ラジオなど)を聞いて指示を仰ぐ。
- ・爆発した場合は、自分や周囲の人に怪我がないか確認し、安全であれば怪我人の手当をする。

核・放射性物質による攻撃

核攻撃には、核爆発を起こす装置が使用され、これには、強烈な熱、光、衝撃、放射線が伴います。放射性物質による攻撃とは、害を与える目的で、爆発物による衝撃を利用して放射性物質を拡散する行為を指します。核攻撃や放射性物質によるテロ行為が発生した際には、地方自治体、州政府、連邦政府の適切な指示に従ってください。核・放射線攻撃に対処する第一歩が、その場での安全確保またはそこから避難です。(18ページを参照)。放射能から身を守るための3つの主なポイントは時間、距離、遮蔽です。

- ・**時間**:被ばくした場所での滞在時間を最小限にする。
- ・**距離**:放射線の発生源からできるだけ離れる。
- ・**遮蔽**:放射線源と自分の間に壁となるものを作る。

取るべき行動

- ・地域、州、国の緊急通知システム(テレビ、ラジオなど)を聞いて指示を仰ぐ。
- ・その場での安全確保や避難を含む、緊急時の指示に従った行動をとる(18ページ参照)。
- ・放射性物質の吸入を避けるため、湿らせた布で口と鼻を覆う。
- ・汚染された衣服はできるだけ早く脱ぎ捨て、密封容器に入れる。
- ・皮膚をやさしく洗い、汚染の可能性を取り除く。
- ・飲食や喫煙など、口からの摂取を控える。





**襲撃による
緊急事態に
対する備え**

襲撃者への備え

最近の米国での事件を鑑みるに、いつ、どこで襲撃される可能性があるかわかりません。あなた自身、大切な人、コミュニティの安全を守るために、これらの事件の前、最中、そして後に、以下の行動を確認してください。今、適切な手順を踏むことで、いざという時に行動を起こすことができます。

事前準備

- ・不審なものを見たら、すぐに当局に知らせる。
- ・自分がよく行く場所（職場、礼拝所など）で規定される襲撃時の対策に精通する。襲撃に備えた訓練に参加できるか尋ねる。
- ・ショッピングモールや医療施設などの大きな建物を訪れたときには、一番近い出口を2つ把握する。これを習慣化すること。ゲーム感覚で実践することもできます。
- ・どのような環境でも、意識的に、身を隠せる場所を探すようにする。頑丈なドアと鍵のある部屋、窓のない部屋、重い家具のある部屋など。
- ・襲撃時の対策や応急処置についての訓練に参加する。

襲撃中

- ・**逃げる**—事件現場からできるだけ遠くに逃げるのが最優先です。持ち物を拾い集めることに時間を取られないようにしましょう。可能であれば途中で他の人に警告してください。身の安全を確認した上で当局に通報します。
- ・**隠れる**—逃げ場がない場合は、安全な場所に隠れましょう。襲撃者から見えないように、しっかりとしたドアと鍵、重い家具があり窓のない部屋を探してください。電子機器の音を消し、文字やサインをドアや窓から出すなどの静かな方法で当局に知らせる。当局の許可が出るまで、誰に対してもドアを開けてはいけません。
- ・**戦う**—差し迫った危険があり、必要とされる場合には、自分の身を守りましょう。積極的かつ迅速な行動を取ることが、銃撃を止める最善の方法です。椅子、消火器、本などのその場しのぎの武器で襲撃者を待ち伏せることで、注意をそらし、混乱させることができます。

事後

- ・手は常に見えるようにしておき、何も持たない。
- ・警察の主な任務は脅威を排除することであり、負傷者の救援は優先されません。
- ・警察の指示には必ず従う。
- ・自身と家族の心的外傷の回復のために、専門家の助けを検討する。





911

へ連絡

911に連絡

緊急事態や災害発生時に当局に通報する最も効率的な手段が911です。

TEXT 911

TEXT911とは、携帯電話や端末から緊急通報者に向けてテキストメッセージを送信する機能です。ただし、TEXT911は現在のところ一部の地域でしか利用できないため、緊急時の911への連絡は可能な限り音声通話で行うようにしてください。

SMART 911

Smart911は、緊急時に911の電話担当者が必要とする情報を、市民が追加で提供できるようにするものです。記入できる項目は、名前、世帯名、医療情報、住所、所在地など、緊急事態に対応する人物に知っておいてほしい情報です。詳細はこちらをご覧ください。www.smart911.com

Smart911の機能

セーフティー・プロフィール

緊急時に迅速な対応ができるように、911に追加情報を提供することができます。

警報・通知

天気、交通、その他の緊急情報を常に把握するよう心がけてください。

特別な支援の要請

災害時に特別な支援が必要であることを緊急管理者に知らせます。





**Emergency
Management**

ワークブックをお読みいただきありがとうございました。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
マコーム郡緊急事態管理・コミュニケーション課
586-469-5270 mcoem.MacombGov.org



Emergency
Management

緊急事態管理・コミュニケーション課 (586) 469-5270 - mcoem.macombgov.org